



安全で安定した給水

水源の確保

草津市には「北山田浄水場」と「ロクハ浄水場」の二箇所の浄水場があり、いずれの浄水場も水源を琵琶湖に求めています。

現在、草津市の取水権水量は、両浄水場を合わせて一日あたり、61,340m³あります。また、滋賀県企業庁から浄水を1日当たり2,000m³受水しています。



ロクハ取水口



北山田取水口

北山田浄水場

北山田浄水場では、取水した原水を薬品沈澱池などで前処理した後、主に微生物の分解力を利用した緩速ろ過池によりろ過し水道水を得ています。

浄水場の施設能力は、1日最大21,520m³あり、配水ポンプによる直圧方式により市内の約3割に給水しています。



ロクハ浄水場

ロクハ浄水場では、二箇所のポンプ場を経由して取水した原水を急速ろ過によりろ過した後、必要に応じて活性炭吸着池に通水する高度浄水処理を行なっています。

施設能力は、1日最大35,600m³あり、送水ポンプにより配水池まで送水し、配水池からの自然流下方式により、市内の約7割に給水しています。



配水池

市内には五箇所の配水池が設置されており、配水区域の標高差による水圧調整を行なうと共に、使用水量の時間変動に対応できる容量を確保しています。



また、配水池には緊急遮断弁が設置されており、災害発生時などの緊急時には給水拠点にもなります。なお、南笠高区配水池は、湖南水道用水供給事業の受水池の機能を兼ね、水道水の安全・安定確保に大きな役割を担っています。

水質管理

水道水のもとになる原水や、浄水場で処理されている処理水の水質管理を厳重に行うと共に、配水池や水道管末の水質検査を毎日行なっています。特に、原水と浄水処理された水道水については、メダカや金魚を使ったバイオアッセイ装置により毒物混入の常時監視を行なっています。

このように水源から家庭に届く水道水まで、徹底した水質管理を行い、市民の皆さんに安全な水を給水しています。



水質試験室



バイオアッセイ装置

高度浄水処理施設

琵琶湖の水質悪化に伴う異臭味対策として、急速ろ過方式を採用しているロクハ浄水場には、粒状活性炭吸着方式による高度浄水処理施設を設けています。この施設により、春から秋にかけて発生する生ぐさ、カビ臭などによる、異臭問題の解消を図っています。



高度浄水処理施設